



福山市立有磨小学校

4 学年通信

2026 年 (令和 8 年)

10 月 8 日

No. 17

驚きと発見の連続！ 社会見学に行ってきました！

先日、食協株式会社志和精米工場とマツダミュージアムへ社会見学に行ってきました。身近な「食」と「技術」の裏側にある、たくさんの秘密に触れた 1 日となりました。

午前中の食協では、お米が精米される仕組みの観察やお米の新鮮さを見極める実験、豪華な 5 銘柄の食べ比べに挑戦しました。また、精米の際に品質基準を満たさず届けることができないお米も、味噌やお煎餅へと生まれ変わるという流通の仕組みを学びました。さらに、「セブンイレブンのお弁当のごはんやおにぎりは、食協が精米したお米」ということや、米だけでなく小麦粉や油、砂糖などを仕入れて企業などへ出荷する「物流拠点」であることを知り、このような会社があるから、私たちの食生活が成り立っていることを実感した時間となりました。

午後からのマツダミュージアムでは、マツダの歴史や歴代の車、未来への取組を学びました。実際の組み立てラインでは、人の作業に合わせて工具の台車が自動で動く最先端の技術にびっくりのこどもたちでした。また、展示車に乗らせてもらう体験もあり、どの子も運転席で目を輝かせて大喜びしていました。

本物を見て、体験することで、教科書だけでは分からない素晴らしい学びを得ることができました。お弁当や持ち物の準備など、ご協力ありがとうございました。



少しずつ、自分で学ぶ姿へ



最近行った、算数のテストのふり返りを読んでみると、こんな言葉が見られました。

「わり算の筆算で、ひき算をよく間違えるので気を付けていきたい。」

「倍の見方がよく分からなかったので、復習をしっかりとしたい。」

「次はテストで100点が取れるように、復習をしっかりとしていきたい。」

これらの言葉から、「自分は何ができて何がまだ難しいのか」を自分なりにふり返り、「次はどうしたらよいか」を考えようとしていることが伝わってきます。

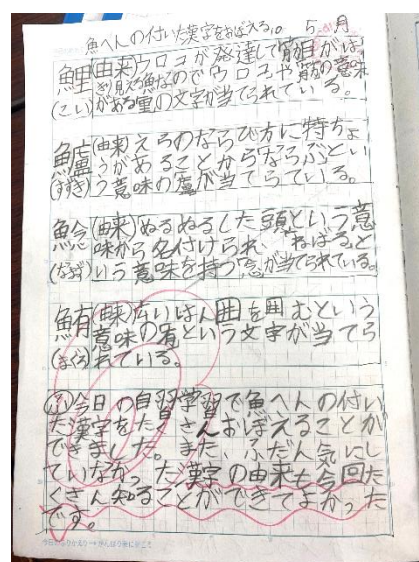
これまで、テストに向けて復習をすることを伝えたり、テストの日を事前に知らせたりしてきました。すると、少しずつこどもたちの中に「テストだから勉強する」だけではなく、「自分の苦手なところをできるようにする」という気持ちが芽生えてきているように感じました。

10月から始めた自主学習も、こうした姿につなげていきたいと思っています。

すぐできるようになる必要はありません。「自分で考えてみる」「やってみる」「ふり返る」という経験を一つずつ積み重ねながら、高学年に向けて自分で学ぶ力を育てていきたいと思います。

右側は、魚への漢字を調べ、その漢字の由来をまとめています！

左側は、漢字テストに向けて、間違えた漢字を練習しています！



バレエダンサーの動きを体験！

10月1日(木)に谷桃子バレエ団の皆さんをお迎えして、ワークショップを行いました。10月21日(水)の本公演に向けて、今回はバレエダンサーの皆さんが普段行っているストレッチやバレエスルなどを教えていただきました。

こどもたちにとって、バレエの動きに触れるのは初めての経験で、普段あまり使わない筋肉を伸ばしたり、音楽に合わせて体を動かしたりしながら、楽しそうに取り組んでいました。実際にダンサーの方と一緒に体を動かすことで、バレエがどのようなものなのかを、少し身近に感じることはできたのではないかと思います。本公演では、ワークショップで体験したことを思い出しながら、プロのダンサーによる本物の舞台を楽しんでほしいと思います。「やったことがないからこそ、やってみる。」そんな経験が、こどもたちの世界をまた一つ広げてくれました。

